

ごあいさつ

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より視覚障害者支援に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、第26回日本ロービジョン学会学術総会を広島では初めて開催させていただくことになりました。

日本ロービジョン学会は日本眼科学会の下部組織であり、我が国における視覚に障害を有する児・者へのハビリテーション・リハビリテーションに関する学際的な研究および臨床の向上と関係者の交流を目的に設立されました。本学術総会は第一線の臨床の場で活躍する眼科医、視能訓練士、看護師などの医療関係者に加え、視覚障害者、教育、福祉、労働、企業関係者などの多彩な背景の方々が参加している眼科領域の中では一番学際的な学会となっております。

本学術総会のテーマは「かける」-多様な社会の中に、様々な連携の橋を、未来に向けて!-です。その専門分野を瀬戸内海の島々と例え、多様な研究者がその専門分野を掛け合わせ、島と島を繋ぐ橋を視覚障害者の自立に向けた多様な支援の橋を架けること、本学会に参加することで各自の多様な未来図を描けることをテーマに込めました。

さらに国を越えてこの橋をかけるために海外の眼科医を招聘して各国の視覚障害者の現状について比較検証をするための国際セッションを企画しました。

これからの視覚障害者の自立と社会参加を進め、誰もが住みやすい社会をつくるために、皆様のご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながらみなさまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2024年4月吉日

第26回日本ロービジョン学会学術総会

会 長 奈良井 章人(奈良井眼科/広島大学病院眼科)
名誉会長 木内 良明(広島大学名誉教授)
副会長 白根 雅子(しらね眼科院長/日本眼科医会 会長)
副会長 竹田 欣史(竹田眼科医院院長/広島県眼科医会 会長)

